プロテスト委員会から選手のみなさんへ

（この文書では、いかなる規則も変更していません。）

1. COVID-19の「感染防止」を前提としたセーリング競技大会

・競技者の声かけについて
規則61.1**「プロテスト」の声かけ**は抗議の要件ではありません。抗議の意思は**「赤色旗の掲揚」**で示してください。（帆走指示書で規則を変更しています。）
混雑や相手が気がつかない場合など、状況に応じて声かけをする事は規則違反ではありません。

・抗議、救済要求、成績照会、ジュリーへの質問、装備の交換、乗員の交代などの手続きを行う入力フォームは、大会公式掲示板（オンライン）の上部にある**青色の＋ボタン**を押す事で各入力フォームにアクセスできます。＊

・付則T調停の積極的採用について
「レース後ペナルティー」や「調停ミーティング」により審問数を低減させます。

・オンサイト＋オンライン審問について
ソーシャルディスタンス確保のため、オンサイトの審問では、当事者2人とジャッジ2人までに人数を制限します。オブザーバー参加は認めません。必要に応じてオンラインでジャッジが参加します。入室の際には手をアルコール消毒していただき、室内ではマスクを着用していただきます。

・審問の控え室について
審問の控室ではソーシャルディスタンス確保と、マスク着用をお願いします。

2. オンライン掲示板による公示および各種の手続き（日本語モードを選択。）

選手の皆さんは、携帯電話、LINE、Eメールなどの連絡手段の情報を提供してください。個別に、抗議締め切り時間、抗議書の受付の確認、審問の予定などを連絡します。レース結果、抗議、救済の手続き、審問スケジュールや審問結果、規則42違反の公示などは全てオンライン化します。会場のWiFiは容量に限りがありますので、みなさんのスマートホンの**モバイルデータ通信**が使えるようにしておいてください。

3. プロテスト委員会による海上のインシデントに対するプロテスト

原則として、プロテスト委員会から2章の規則や規則31に関して艇を抗議することはありませんが、明らかなスポーツマンシップ違反（規則2）を目撃した場合には、抗議することがあります。

4. 外部の援助

規則41は準備信号から適用されます。準備信号以降、支援艇等から指導や助言を得たり、セーリング用具を受け渡ししたりすると規則41に違反することになります。

5. 推進方法—規則42と付則P

World　Sailingの規則42公式解釈（日本語訳）は、JSAFルール委員会ホームページからダウンロード

できます。https://www.jsaf.or.jp/rule/pdf/RRS42Interpretation20130515-trans201307.pdf
付則Pに基づくペナルティーを課された選手やそのコーチは、そのレースの終了後に、ペナルティーを課したジャッジから説明を受けることができます。海上での説明で十分に理解できなかった場合には、陸上でも説明を受けることができます。

6. 着順に疑問がある場合やOCS，UFDまたはBFDと記録されたことに対する質問・照会
着順やOCSに関する疑問がある場合に、レース委員会に間違いないかどうか照会をすることができます。**成績照会のオンライン・フォーム＊**を活用してください。

7. アービトレーション（調停）
本大会には付則T（調停）が適用されます。アービトレーターは、その後審問になった場合にはパネルのメンバーを兼ねる場合があります。

8. ビデオ映像等の証拠
審問においてビデオ画像等を証拠として提出する場合、再生するのに必要な機器は、その証拠を提出しようとする者が用意しなければなりません。

9. 審問再開の要求
審問の当事者は、判決を通告された後に、審問の再開を求めることができますが、大会最終日には時間制限があるのでご注意ください（規則66）。再開要求については**抗議、救済要求フォーム＊**を使います。
審問の当事者が審問の再開を要求した場合、以下の場合に限り、審問を再開します（規則M4）。
- 判決を変えるかもしれない新たな証拠がある。
- プロテスト委員会が規則の解釈を間違っていた。

10. 審問のオブザーバー
今大会ではCOVID-19「感染防止」に対応するソーシャルディスタンス確保のため、審問の当事者以外の人が審問を傍聴することができません。

11. 審問での証言と規則69
審問で嘘をついたり、騙したり（真実を証言しないことも含む）すると、スポーツマンシップの違反となり、規則69（重大な不正行為）に基づく審問が召集されて、重いペナルティーが課されることがあります。

12. プロテスト委員会に対する質問
選手およびチーム・リーダーは、本プロテスト委員会の方針や手続きについて、大会期間中、プロテスト委員会に質問することができます。**ジュリーへの質問フォーム＊**を使ってください。質問の内容によっては、回答はオンライン公式掲示板に掲示します。

以上

2020年11月12日

第**73**回全日本スナイプ級ヨット選手権大会

プロテスト委員長　富松 潔